

★「暫定」という言葉の意味は「一時的」と習った記憶が...でも30年以上も続いているガソリン税の暫定税率。バラタイム・シフト(発想の転換)の時期では? **一般質問**

自治基本条例について

Q1 市民検討委員会委員の募集の前に、シンポジウムやフォーラム等を開催し、一人でも多くの市民に「自治基本条例とは何か説明が先ではないか?」

A1 研修会の開催は今年の1月、3月に町会自治会長、市民大学、大学OB、市職員を対象に開催。また12月23日に市民を対象に講演会を開催予定

Q2 市民検討委員会の公募メンバーの構成メンバーの男女比、年齢層のバランスが大切だと思いますが、市の考えは?

A2 委員の半数が公募のため現時点では想定が出来ない。市としても可能な限り、バランスの取れた組織を望んでいる。

A3 予定では平成21年7月に条例を公布予定となっておりますが、市民に対しての啓発、説明会はどのように考えているのか?

Q3 市としても、フォーラム、地区別説明会、パブリック・コメントの実施を予定している

●和宏の意見・考え方
再質問では6点について再質問いたしました。(詳細は議会のHPを)

今回の「自治基本条例」は私も平成16年9月議会、18年3月議会の質問で「早期に制定するべきだ」と提案をしました。ですから条例制定への動きは大歓迎です。しかし、今回の条例制定までのスケジュールは計画性に乏しいと感じます(私見)。市長の選挙公約の一つならば、制定までのスケジュールを余裕を持って、もっと事前に「自治基本条例」の勉強会等を開催し、それから検討委員会の委員を募集する手法が良いと考えます。再質問で「もっと早く作業を進めるべきだったのでは?」との問いに市長は「私は担当に指示をした」と言っていました。自分が書いた公約ならば、

★「衆議院の解散選挙」が高い確率であるでしょう。誰を選ぶかより、その人(党)が何をしてくるのか?が大切です。増税は反対!

作業が進んでいるかきちんと「チェック」するのがトップのあるべき姿だと感じます。ちなみに講演23日に牛山教授も著書の中で「自治基本条例の一番重要なことは条例制定までの「プロセス」だと言われています。

事業仕分け作業について

Q 久喜市や他の自治体で実施している民間のシンクタンクによる「事業仕分け」を本中でも実施する考えは?

A 市としては、現在進めている事務事業行政評価制度や外部評価の充実を図り、事務事業の見直しなどの行財政改革に努めていく。

●和宏の意見・考え方

大半の自治体はバブル景気と呼ばれた時代に、大幅な税の収入を元に、市の事業を拡大してきました。しかしバブル崩壊後、景気低迷による税収の減少により、自治体の財政状況は悪化の一途となつていす。それと同時にハコモノ建設時の借金の返済のピーク、高齢社会を迎え、社会保障費(医療や保険等)が増加しています。私は、今後も大幅な経済成長はかなり難しい時代だと感じています。ということと税収増を求めるのは難しい事であり、むしろ歳出(使うお金)を抑える事が重要だと考えます。

その一つとして、「事業仕分け」があります。本当に行政が行う事業なのか?民間やNPOでも実施出来るのでは?という「仕分け」をし、そこで「浮いたお金」を本当に必要な政策に充てる仕組みが大切だと感じます。

※ちなみに「事業仕分け」は公明党の選挙公約に入っています

教職員の勤務実態について

Q1 昨年約40年ぶりに教員の勤務実態

調査が行われ、教職員の多忙さが指摘されています。本市の状況は?

A1 今回の調査は各個人が個別に調査把握はしていない。但し、本市の場合も全国調査の結果同様に勤務実態は多忙であると認識している。

Q2 今後、学習指導要領が改定され、事業時間数の増加がほぼ決定しました。本市の対応(事業時間数の確保の方法)は?

A2 今回の改訂では小学校1、2年生では週当たり2時間、小学校3年生から中学校3年生までは週当たり1時間増加します。教育委員会としては新しい学習指導要領を効果的に実施するために教育課程部会を設置し、検討する。また少人数補助教員の配置や外部人材の活用を考えています。また各種研修会の見直しや諸調査の削減も実施し、教員の事務負担軽減も進めていきたい。

●和宏の意見・考え方

私も学校に用事があり、先生方を見てみると、本来の授業は勿論ですが、学校内の生活指導や部活...等「忙しい毎日」が続いていると感じています。

その状態に追い討ちをかける「授業時間の増加」「保護者としても生徒と向き合う時間は大丈夫?と心配になりますね。私たちが小学校の頃は休み時間の時も先生が教室にいて、先生も一緒に遊んでくれた記憶が残っています。些細なことですが、その時間で先生との絆が深まった記憶が...。学力の向上も重要ですが、「人として大切な事」を教わったような気がします。

八潮の教育現場は様々な課題を抱えています。「誰が悪い!あいつが悪い!」と犯人探しをしても解決は難しい。教育委員会、学校、そして保護者、地域が連携し、協力して解決しなければ前に進みません。〈詳しくは議会のホームページを...〉

傍聴

うおちゃん!!



○議会の答弁とは何か?もう一度、多田市長に勉強してほしい!

議員の再質問で「まさか朝田議員は市長選に出るわけじゃないでしょうね」という趣旨の答弁をしましたが、そんな事は誰も聞いていません。個人的に街中で立ち話をするのとは違います。「議長経験者」であり「品格のあるまち」を目指す人ならば議場での発言はすべて「一字一句」議事録として残ることを再認識してほしい。(60代・男性)



年末のお忙しい中、傍聴ありがとうございました